

令和4年度

社会福祉法人安堵町社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人

安堵町社会福祉協議会

## 令和4年度事業報告 概要

「誰もが主体的に参加、役割を持ちながら支え合う地域づくり」と、「住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指して、当協議会が担うべき地域福祉の推進において、令和4年度は、地域包括支援センター運営・介護予防事業・地域での支え合い活動の推進、生活困窮者支援、生活支援体制整備等を重点的に事業展開してきました。これにより、複雑化、深刻化する地域での福祉課題や生活課題の解決に向けて、各種関係機関、団体、行政と連携し、地域包括ケアシステムの深化において当会の役割を果たすため、より地域に密着した拠点となるよう努めました。

地域で安心して暮らしていくためには、様々な社会保障制度だけではなく、地域での支え合いやつながりづくりが重要です。制度では解決できない暮らしの中の困りごとや課題の解決に向け、ワンコイン支え合いサポーターやよりそい隊などのボランティアによる生活のちょっとした困りごとの支援を行ってまいりました。一方で、地域の助け合いのしくみづくりや地域サロン活動については、人が集う活動でもありましたが、with コロナでの取組も定着してまいりました。

また、5人に1人が認知症の時代と言われている中で、「認知症になっても地域で安心して暮らせるまちづくり」として、多くの住民に対して認知症の正しい理解を深めるためにサポーター養成講座を少人数制で回数を分けて開催しました。

赤い羽根共同募金・日本赤十字社資募金活動等については、地域住民の皆様による活動へのご理解のもと、目標達成額に近づけることができました。

地域包括支援センターの運営については、コロナ禍における通いの場での活動支援、介護予防については、専門職の協力を得ながら、自助努力の大切さや介護予防の講座を開催し啓発と人材育成を行いました。

### 事業実施状況

#### 【法人運営事業】

##### 1. 社協総務運営(庶務、経理、理事会、評議員会等の運営)

#### 理事会

第1回	令和4年5月30日(月)
第2回	令和5年3月14日(火)

## 評議員会

第1回	令和4年6月14日(火)
第2回	令和5年3月22日(水)

## 監事の監査

第1回	令和4年5月19日(木)
-----	--------------

## 評議員選任・解任委員会

第1回	令和4年5月30日(月)
-----	--------------

## 2. 広報・啓発活動

各地域での活動の紹介や、ボランティアの情報、社協の活動や情報の記載、地域包括支援センターの紹介等を掲載し、情報発信を行いました。

・社協広報誌「あんど社協だより」の発行

令和4年5月	93号
令和4年9月	94号
令和5年1月	95号

・ホームページ公開(<http://andoshakyo.com>)

## 3. 募金運動の推進

国内外の災害などに対する募金や日本赤十字社、共同募金会事業に対する募金活動の支援を行いました。

### 【地域福祉推進事業】

#### 1. 地域サロン活動の推進

各大字において行われている様々な自主活動は、体操やレクレーション、お出かけ等、活動を再開できている地域と再開を見合わせている地域がありました。引き続き、新型コロナウイルスの状況が変化する中で地域でできる活動を各大字の皆様と一緒に考えていきます。

各サロン開催地域(休止や日時の変更あり)

サロン名	開催日	開催場所	参加人数
まほろばサロン(東安堵南)	第3木曜日	四弁花	15~20名
西安堵ふれあいサロン	休止中	西安堵公民館	
下窪田ふれあいサロン	第3木曜日	下窪田自治会館	5~8名

岡崎あすなろ会	毎月15日	岡崎公民館	20名
笠目サロン	第3金曜日	笠目公民館	15～20名
かしの木台日の出サロン	第4金曜日	かしの木台集会所	15～18名
小泉苑いずみの会	第3木曜日	小泉苑公民館	20～25名
柿の里いきいきサロン	第2金曜日	柿の里団地集会所	10～15名
柿の里ダンディ	第1火曜日	柿の里団地集会所	10名程度
若草の里サロン	月1回日曜日	若草の里集会所	10名程度
窪田(上・東・北)わかばサロン	年1回日曜日	上窪田公民館	30名以上
ほっとあんどサロン	第4火曜日	福祉保健センター	20～25名
新法隆寺・興人サロン・ナデシコ	偶数月第1月曜日	福祉保健センター	25～30名
あつみ台なでしこサロン	第3水曜日	交流館なでしこ	20～25名

## 2. 生活困窮者への自立支援事業

緊急性を要する生活困窮者に対して、生活保護制度利用決定に至るまでの間に生活福祉資金の貸付へと繋いだり、その日、食べる物が無いなどの場合は、食糧支援を行いました。また、もったいないを無くす活動として、フードバンク奈良より提供いただいた食材を、生活にお困りの方や、地域の活動などへの提供を行いました。新たに令和4年度よりもったいないを無くす取組にイシメン株式会社も賛同いただき、食の支援を行いました。

生活福祉資金相談件数	5件
生活福祉資金貸付件数	1件
コロナ生活福祉資金貸付件数	8件
生活困窮者自立支援事業 (フードレスキュー支給)	0件
食のたすけあい支援件数 個人	44件
食のたすけあい支援件数 地域	10件

## 3. 共同募金事業

10月より募金増強月間に全戸募金の協力を大字区長・自治会長、職域にお願いしました。また町内の各施設に募金箱を設置し、皆様のご協力により集まった下記の金額を共同募金会へ送金させていただきました。

目標額	490,000 円
実績額	552,392 円

#### 4. 団体育成事業(関係機関及び各種団体との連携)

民生児童委員、安寿会連合会、赤十字奉仕団、町内ボランティア団体の活動推進、県やその他からの情報提供や助成金等の事務支援を行いました。

##### ・民生児童委員協議会の年間活動の支援

年間事業内容	
定例委員会	12回
施設見学、研修	10回
生活福祉資金制度の支援協力	随時
独居高齢者調査の協力	随時
施設ボランティア実施の支援	11回
民生児童委員の日活動強化週間支援	1回
生駒郡連合会研修会への参加	3回

##### ・安寿会の年間活動の支援

年間事業内容	
支部長・本部役員会	4回
町内美化運動	2回
菊花展	1回

##### ・福祉団体育成事務支援

(福祉団体)

民生児童委員協議会・安寿会・安堵町赤十字奉仕団他

(ボランティア団体)

ネットあんど協働たい・手話サークル葉の会・運動普及ボランティア・おはなし会  
ねこじゃらし・更生保護女性会・安堵こども食堂・よりそい隊・支え愛サポーター他

(ボランティア活動支援・連携)

町内で活動されるボランティア活動について、保険加入の手続きや助成金の申請手続きなどの支援を行いました。

社協ボランティア保険加入件数	活動保険 15件
	行事保険 24件

#### 5. 地域への貸与事業

##### ① 車いす貸与

一時的に歩行が困難で、介護保険での車いす貸出しサービスが利用出来ない方を対

象に、無償貸与を行いました。

貸出件数	11 件
------	------

② 3人乗り自転車貸与

子育て多子世帯の経済的な負担を軽減すること、及び外出機会の提供や社会参加による育児不安の解消を図ることを目的とし、3人乗り自転車の無償貸与を行いました。

貸出件数	1 件
------	-----

③ レクリエーション物品貸与

スカットボールや輪投げ、ラダーゲッター、ポップコーン機、わたがし機、プロジェクター等子ども会や地域活動等で活用していただけるよう、無償貸与を行いました。

貸出件数	13 件
------	------

6. 災害に対するボランティア活動

実際に災害が起こったことを想定したボランティアセンター設置についての模擬訓練を、生駒郡内4町社協合同で行いました。

実施日	令和5年3月4日(土)
-----	-------------

7. 日常生活自立支援事業

金銭管理のできない高齢者や認知症、精神障害等のある方に対し、定期的に生活員が訪問して日常的な金銭管理を支援しました。必要に応じて福祉サービスの情報提供等も行いながら自立した生活を送っていただけるよう努めました。

延相談件数	10 件
利用件数	4 件

8. 日赤募金事業

① 日本赤十字社員増強運動

5月の社員増強月間に全戸募金の協力を、大字区長・自治会長へお願いしました。また、町内の各施設等に募金箱の設置をお願いしました。

目標額	881,000 円
実績額	716,131 円

「日本赤十字社法人募金活動サポート」

日本赤十字社奈良県支部と安堵町赤十字奉仕団による企業・法人募金活動を行いました。

募金総額	200,000 円
実施日	令和 4 年 9 月 6 日

## ② 献血活動事業の支援

町内で年2回実施する献血事業に対し、安堵町赤十字奉仕団と協力して広報、啓発活動を行いました。

実施日	令和 4 年 8 月 18 日
実施日	令和 5 年 2 月 9 日

## ③ 地域赤十字奉仕団活動促進助成金交付事業

防災講習会(町内 8 カ所)	あつみ台・岡崎・西安堵・小泉苑・東安堵・柿の里と若草の里合同・窪田・かしの木台
----------------	---

## 9. 小口資金貸付事業

低所得者や生活困窮者等に貸付を行うことより、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

相談件数	4 件
貸付件数	3 件
寄付金受入件数	6 件
寄付金受入総額	38,011 円

## 10. 福祉サービス苦情解決

福祉サービス分野に「苦情解決のしくみ」を導入し、苦情解決責任者1名、苦情受付担当者1名、第三者委員2名を配置し、ニーズの把握やサービスの質の向上に結びました。

苦情件数	0 件
------	-----

## 【受託事業】

### 1. 地域包括支援センター運営事業

地域包括支援センターは、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種がチームアプローチにより、住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として運営しています。高齢化が進み、独居、高齢世帯、認知症高齢者の増加が見込まれる中、要介護状態とならないため住民とともに自助、互助を活かした介護予防の取組や、介護が必要になっても住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けることができる地

域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みとして、多機関、多職種連携による体制づくりや地域資源を活用した仕組みづくりを行いました。

・介護予防支援事業(介護予防サービス計画作成)

利用者(R5.3 実人数)	要支援者	62名
	事業対象者	14名
年間延利用者数	要支援者	768名
	事業対象者	161名
包括担当延べ件数	要支援者	81件
	事業対象者	23件
委託先延べ件数	要支援者	687件
	事業対象者	138件

・総合相談支援事業・権利擁護事業

相談内容・件数

介護に関すること	237件
権利擁護に関すること	91件
ケアマネジメント業務	186件
ケアマネジャー後方支援	211件
認知症に関すること	200件
障害に関すること	32件
入退院に関すること	84件
介護予防に関すること	103件
受診、身体的不調に関すること	86件
精神的不調に関すること	146件
生活支援に関すること	60件
その他	155件
総数	1,591件

・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

安堵カンファレンス	6回
生駒郡内介護支援専門員合同研修	4回

・介護予防ケアマネジメント事業

いきいき百歳体操	16カ所
地域サロンでの健康相談	随時

・地域ケア会議開催

困難事例会議	5回
自立支援型地域ケア会議	22回
自立支援型地域ケア会議(新規利用者延件数)	27件
自立支援型地域ケア会議(C型サービス利用者延件数)	13件

・在宅医療・介護連携推進事業

生駒郡地域ケア会議	2回
多職種勉強会	1回
市民公開講座(終活セミナー)	昨年度分2回 今年度分2回
生駒郡内在宅医療介護資源集作成会議	1回
退院調整ルールづくり事業 状況調査	1回
退院調整ルールづくり事業 担当者会議	2回
退院調整ルールづくり事業 全体会議	1回
西和メディケアフォーラム合同会議	2回
西和メディケアフォーラム事例検討会	1回
西和地域包括支援センター連絡会ケアマネジメント部会	7回

・認知症総合支援事業

認知症初期集中支援チームにて対応	0回
認知症サポーター養成講座	5回
キャラバンメイト連絡会	2回
見守り声かけ模擬訓練	1回
認知症ケアパスの活用	

① 認知症サポーター養成講座

実施日	対象	参加人数
令和4年4月19日	住民	10人
令和4年7月8日	安堵中学校2年生	42人
令和4年11月16日	ボランティアきっかけ講座	4人
令和5年1月23日 2月15日	町内商店 (内商工会から参加 9人)	17人

② チームオレンジ安堵・オレンジかふえあんど

令和4年度もオレンジかふえあんどは、コロナウイルスの影響で中止が続きましたが、チームオレンジで感染対策の話し合いを行い、かふえを開催しました。

会議回数	11回
------	-----

開催日	チームオレンジ参加人数
令和4年6月9日	6名
7月14日	6名
9月8日	6名
10月13日	8名
11月10日	8名
12月8日	10名
令和5年3月9日	9名

## 2. 介護予防事業

病気や骨折、入院などをきっかけに筋力や活動量の低下により以前は行えていた生活動作が困難となっている高齢者に対して、3か月間短期集中的にリハビリ専門職の介入の元機能回復を目指すことで、自立した日常生活を取り戻していけるよう支援する、安堵町短期集中通所サービス(総合事業)への参加が必要な方への支援を実施しました。担当介護支援専門員と連携し、通所の初回、終了前の自立支援型地域ケア会議を通して多職種の助言をもとに自立支援に資するケアマネジメントの実施を支援しました。

実人数(R4.4~R5.3)	7人
実施回数	73回
事業委託先	奈良厚生会病院

### 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業」

健康寿命の延伸に向けて医療保険と介護保険における予防と健康づくりを一体的に実施するもので、有病率の高い高齢者の早期発見、対応とともに重症化の予防、フレイル予防や介護予防、生活習慣予防について、健康福祉推進室と地域包括支援センターとで連携しながら取り組みました。健康状態不明瞭者を抽出(45名)し、対象者には、健康チェックの質問表とお元気ですかアンケートを送付しました。その中で返信の無い方や、ポピュレーションアプローチが必要な方へは個別訪問し、健診や受診勧奨、介護予防やフレイル予防の啓発を行いました。

個別訪問数	19名
モニタリング継続者	3名

### 「いきいき百歳体操」(地域介護予防活動支援事業)

自分の身体は自分で守るために、筋力アップ、柔軟、バランス感覚が鍛えることのできる、おもりを使った“いきいき百歳体操”を週に1回、地域住民さん自ら、集会所等で行う

活動を支援しました。介護予防と同時に、地域の通いの場づくりへと繋がりました。

実施箇所数	16ヶ所	
参加人数	167名(延べ約7,181名)	
実施回数	約305回	
実施場所	かしの木台	毎週金曜日
	小泉苑	毎週水曜日
	柿の里	毎週金曜日
	四弁花(東安堵あくなみ)	毎週月曜日・木曜日
	笠目	毎週水曜日
	福祉保健センター	毎週金曜日
	若草の里	毎週土曜日
	上窪田	毎週木曜日
	あつみ台	毎週水曜日
	岡崎	毎週火曜日
	カルチャーセンター	毎週水曜日
	中窪田	毎週月曜日
	特養もちの木	毎週木曜日
	西安堵	毎週火曜日
	下窪田	毎週木曜日
	あくなみ苑	毎週日曜日

### 「リハ職派遣事業」(地域リハビリテーション活動支援事業)

リハビリテーションに関する専門職の視点を入れながら、高齢者の介護予防について、その有する能力の評価、改善の可能性などの助言を受けることで、高齢者の自立に向けたケアマネジメント支援を地域ケア会議において行いました。

実人数(R4.4~R5.3)	7人
延実施回数	59回

### 3. 生活支援体制整備事業

#### 「生活支援サポータースキルアップ講習会開催」

困った時はお互い様を合い言葉に、生活のちょっとした困りごとをワンコインで援助することで、公的なサービスでは対応できない部分の支え合いのワンコイン生活支援サポーターのスキルアップ目指し、救急講習会を開催しました。

参加人数	11名
登録者	11名
日時	内容

11月15日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な応急手当、AEDについて</li> <li>・通報に悩んだ場合の判断について</li> <li>・通報時シュミレーション</li> </ul>
-----------	--

### 「地域で支えるボランティアの活動」

#### ・よりそい隊

令和4年度は「ボランティアきっかけ講座」を開催し、新規で2名の方にボランティア加入いただきました。

会議	12回
ボランティア加入者	6名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物支援(5回)</li> <li>・食のたすけあい支援(フードバンク)の仕分け(6回)</li> <li>・草引き(2回)</li> <li>・子ども食堂イベント支援(15回)</li> <li>・療育教室支援(1回)</li> </ul>

#### ・支え愛サポーター

生活のちょっとした困りごとをワンコインで支える生活支援サポーター養成講座を受講され、令和元年12月より支え愛サポーターとして活動をスタートしました。

会議	12回		
ボランティア加入者	サポーター11名 利用会員47名		
活動実績	活動件数	130件	
	内訳	掃除	63件
		買い物代行	38件
		ゴミ出し(粗大ごみ含む)	4件
		草引き	13件
		整理整頓	8件
		病院の付き添い	6件
		電球交換	4件
		洗濯	1件
		手続き代行	1件
		その他	6件

### 「協議体の開催」

令和4年度は、コロナ禍での開催はありませんでした。

#### 4. 社会参加援助サービス事業

一人でも多くの方に参加いただき、聴覚障害者への理解と知識を学ぶことで交流を深め、障害を持った方への暮らしやすいまちづくりを推進のために、手話奉仕員養成講座を開催しました。

手話奉仕員養成講座(入門課程)	全 20 回
受講者数	4 名

#### 5. 療育教室開催事業

心身の発達等について心配のある、4歳未満の幼児とその保護者を対象に、幼児の遊びを通して身体の発育や知的活動、情緒の安定、社会性の調和的な発達を促し、豊かに伸び行く可能性を引き出せるよう、指導員とともに月3回程度教室を開催しました。

月平均参加児数	1.6 名
年間延人数	55 名